一般質問
（要旨）

昭島からの初富士
（多摩川の土手にて）

教育環境の諸課題について

公明党昭島市議団　赤沼　泰雄　議員

質問　学校施設の更新問題について、施設の複合化、財政負担の平準化、避難所としての機能面の強化や設計から建設までの期間等を考慮すると、建て替えの具体的な検討を始めるべきと考える。見解は。

答弁　長寿命化や建て替えの必要性などの判定のため、全校で耐力度調査を実施し、優先順位を見極める必要がある。財源確保と負担の平準化を見通した計画のもと、適切に対応していく。

質問　災害時の利用を想定したトイレの確保を図る上で、合併処理浄化槽を整備することは有効とされている。小中学校の敷地内における整備について、見解は。

答弁　避難所における衛生確保として有効な手段であると認識しているが、浄化槽への切り替え手法や費用面等の課題があることから、調査・研究していく。

質問　放課後や週末等の児童の安全・安心な居場所の確保について、学校・学童クラブ・放課後子ども教室の関係者が連携して取り組むことが重要と考える。学童クラブと放課後子ども教室の一体型を導入しては。

答弁　安全面や教育面の観点、また事業規模や形態の違いから課題がある。他自治体の事例などを参考として研究・検討していく。

質問　放課後子ども教室で見守り等を行っている有償ボランティアは、謝礼額の低さなど様々な課題があるが、中でも人材確保が大きな課題である。待遇改善が必要と考えるが、考えは。

答弁　有償ボランティアは、必要不可欠な人材だと認識している。安全・安心な居場所づくりとあわせ、他の自治体の取り組み状況等を調査・検討していく。

介護保険制度について

無会派　南雲　隆志　議員

質問　高齢者がいきいきと暮らすまち昭島を目指すため、①介護保険制度の安定的な運営について、基本的な考え方は。②介護需要がピークを迎えつつある中、市の介護予防施策の実績は。③毎年11月に実施している認知症月間の取り組みの効果は。

答弁　①介護保険事業計画の各種施策の推進により、高齢者が住み慣れた地域で安心していきいきと暮らし続けられる、地域共生社会の実現に取り組んでいく。②介護予防・日常生活支援総合事業や介護予防を目的とした各種講座などを実施している。③関係機関と連携した様々な事業の集中的な実施により、認知症への理解促進に寄与していると捉えている。

質問　がんの早期発見・早期治療には、がんに対する知識をより身につけることが重要である。冊子等を作成し、市民への効果的な意識啓発に努めるべき。

答弁　がん予防教室の開催やがん検診についてのパンフレットを全戸配布している。引き続き効果的な周知啓発に取り組んでいく。

質問　誰一人取り残さない、誰もが恩恵を享受できる人に優しいデジタル化の実現に向けて、①基本的な考え方は。②マイナンバーカードの情報流出への懸念に対して、カードの有効性をより分かりやすく市民に説明すべき。

答弁　①市民に便利になったと実感してもらえるよう、スピード感をもって行政のDX化へ取り組んでいく。②引き続きホームページやSNS等を活用するとともに、商業施設等への出張申請サービスの際など、あらゆる機会を捉え、効果的な周知啓発に努める。

第9期介護保険制度のより良い改善を求める

日本共産党昭島市議団　荒井　啓行　議員

質問　介護保険制度について、第9期事業計画では第1号保険料を全国平均で月額7千200円とする議論が行われるなど、制度内容の抜本的な変更が検討されている。①国や都から第8期の現況調査などが行われているのか。②負担見直しについて、介護サービス事業者や利用者の声をどのように把握しているのか。③要支援1・2の被保険者を市町村が運営する総合事業へ移行した際には、事業所など域の実情を国や都へ伝えていく。②地域ケア推進会議など様々な機会を捉え、意見の把握に努める。③報道等を通じて、移行の議論がされていることは承知している。引き続き国の動向を注視していきたい。

質問　生活保護行政について、①社会福祉協議会が実施している「たすけあい資金貸付事業」の貸し付け実績は。②貸し付けは、申し込み後、翌日の支給となっている。貸し付けは市と協議会で連携を図り、臨機応変に速やかな対応をすべき。

答弁　①令和3年度は15件で、23万円を貸し付けした。②引き続き社会福祉協議会と協議し、どういった対応が可能か検討していく。

質問　教育委員会名義使用承認について、①これまで承認されなかった事業は。②その判断基準は。

答弁　①元年度以降は1件であった。②営利を目的とするものや行政運営に支障を来すもの等を対象外としている。

昭島市ぐるみのESDについて

自由民主党昭島市議団　金井　悦子　議員

質問　ESDは、ユネスコを主導機関として国際的に取り組まれてきた持続可能な開発のための教育である。市内小中学校におけるESDの更なる充実に向け、①地域性や地域特有の文化伝統を生かした教育が行われている中、まちづくりの目標である「水と緑が育むふるさと昭島」に重点を置いた教育とすることで、社会課題に柔軟に対応し、持続可能な社会の担い手として生き抜く力を備えた、昭島っ子らしさがより深まるのでは。②様々な課題に対し探求を深め、解決策を考え、行動する力を育成することにより、未来志向の子ども達が増えると考える。そのための施策として、ユネスコスクールへ加盟する考えは。③コミュニティ・スクール導入に向けESDの目標である持続可能な社会の構築が必要と考える。目標達成には地域との協力・連携が欠かせないが、考えは。

答弁　①市の豊かな自然環境や地域の歴史と文化は、次世代に引き継ぐべきかけがえのない宝である。教育振興基本計画に基づき、深層地下水100％の水道水や、自然環境などを生かした教育を更に進め、持続可能な社会の形成者としてふさわしい児童・生徒の育成に努めていく。②環境教育、伝統文化教育、国際理解教育などESDの視点に立った特色ある教育活動を実践するとともに、ユネスコスクールの情報も提供していく中で、未来志向の昭島っ子の育成に取り組んでいきたい。③地域とともにある学校づくりをより明確にし、学校を核とした地域づくりにも資するよう小中学校におけるコミュニティ・スクールの導入を検討していく。

請願・陳情の提出方法

請願等の書式（例）

○○○○に関する請願
（紹介議員がないものは陳情）

請願（陳情）の要旨

紹介議員
○○○○印

年　月　日
（あて先）昭島市議会議長
請願（陳情）者
住所　○○○○
氏名　○○○○印
電話　○○○○

市民のみなさんが、日頃考えている意見や要望を誰でも市議会に提出することができます。

議員の紹介のあるものが請願、ないものが陳情です。

議会に提出された請願等（陳情で内容が請願に適合するものを含む）は、担当委員会で審査されます。

なお、請願・陳情者の署名があれば押印は不要です。

請願・陳情

陳情　件名	提出者	審査委員会審査結果	本会議の審議結果
ＧＬＰの巨大物流倉庫などの建設から住民の平穏な生活・住環境を守るための陳情	昭島市つつじが丘の住民ほか４人	建設環境委員会 採択	採択
ＧＬＰの物流施設建設に関わる陳情書	昭島市宮沢町の住民	建設環境委員会 継続審査	継続審査
昭島市議会議員の定数削減に関する陳情	昭島市武蔵野の住民ほか１人	議会運営委員会 継続審査	継続審査